

【地域版】公共施設タウンミーティング 会議録

日時	平成 30 年 6 月 10 日（日）13 時 30 分～16 時
開催場所	フラワータウン市民センター ホール
対象地域	フラワータウン、ウッディタウン、カルチャータウン
参加者	12 人
市出席者	森市長、椋田技監、東野経営管理部長、西田行政管理室長、山添市民協働室長、川田市民文化室長、奥こども室長、久高都市政策室長、古川地域整備室長、外岡学校教育部次長
事務局出席者	西垣戸財務室長 公共施設マネジメント推進課：甲斐課長、木戸課長補佐、中根係長、松木主任、迫田主任 協働推進課：曾根課長、小東地域担当課長（フラワータウン担当）、西垣地域担当課長（ウッディタウン・カルチャータウン担当）
議題	(1) 三田市の公共施設の現状・基本方針(案)の説明 ・「三田市の公共施設をとりまく現状」の説明 [木戸課長補佐] ・「三田市公共施設マネジメント推進に向けた基本方針(案)」の説明 [椋田技監] (2) 意見交換 [意見交換シートを活用]

会議の概要

司会	1. 開会 2. 市長挨拶 3. 現状・基本方針(案)の説明 4. 意見交換 事務局の方から人口減少等が見込まれるため、公共施設のボリュームを小さくしていく必要があるという説明がありました。そのことについて、ご意見をお持ちでしたらお願いします。
参加者	行政が住民に対して正確な情報を出さないと地域イニシアチブは期待できません。現在の価値がいくらあるのかなど、しっかりと開示することが必要だと思います。
市	現在の価値がいくらで年間維持費がどれくらいかかっているかなどにつきましては、今後対処していこうと考えております。
司会	意見交換シートが手元にとどいております。 「利用者数 1 万人が基準になっておりますが、1 日あたりにしますと 30 人ぐらいになってしまうということですので少なくないでしょうか」というご質問、それと「延床面積 12%削減ということとなっておりますが、②一定条件のもと存続、それと③施設運営等の見直しはカテゴリーに含まれていないのですか」という質問をいただいております。
市	1 万人の考え方につきましては、庁内でもいろいろ意見がありました。現在募集しているパブリックコメントなどの中で、2 万人が良いとか 3 万人が良いとか意見が出てくるかもしれません。そういった意見がありましたら、現在の 1 万人でいくのか、また検討していきたいと思っております。

また12%についてですが、「廃止・売却等」としている施設全ての延床面積で6,337㎡となっており、1.78%しか届いていません。さらに「一定の条件のもと存続」にある施設が1.43%で、合わせて3%少しです。12%というのは30年後の人口減少を見据え身の丈にあったものとして12%減らすという、あくまでも30年後の目標でございます。

参加者

30年だとスパンが長すぎるので、短くして、管理計画でこれぐらいという目安、目標を立てたほうが実際に進むのではないのでしょうか。

市

貴重なご意見ありがとうございます。

参加者

今の質問に関連して、5年10年のスパンとしても、前任者が代わったから話が変わるということにならないよう、取り組みの体制・計画性、地域と連携する場合は市の当局の体制をしっかりとしてください。

市

この4月から新しい組織を立ち上げたり、管理計画を踏まえた基本方針では計画期間を10年とし5年ごとに見直しを図ることとし、随時必要に応じて検証をしていきます。

司会

意見交換シートの中で、指定管理者についての質問をいただいております。

「施設の内、指定管理者が管理運営している割合はどれくらいなのか。指定管理者が施設を活性化する運営を行っているのか。」「青野ダム記念館の会議室があるのに貸館事業、有料で市民が借りるということをしていないということが施設を有効に使用できていない要因になっていないか。」というご意見ですが、他にもご意見ある方、おられませんでしょうか。

司会

現在の指定管理者の状況について事務局の方から説明させていただきます。

市

指定管理については17の指定管理を行っております。その中には複数施設を管理しているものもあります。市では指定管理の状況確認の為に毎年評価を行っており、改善につなげています。現状において、指定管理の状況については概ね良好という結果を得ている状況です。

参加者

今指定管理になっているものは、ほとんどが売却対象にあがっているのではないですか。

司会

指定管理者に施設の管理運営をお願いしている中で廃止売却にあがっているものは、淡路風車の丘、青野ダム記念館です。

参加者

有馬富士自然学習センター指定管理者の会員ですが、指定管理施設は条例で設置基準が決められているため、規制が厳しく運用しづらい面があります。節電対策の関係で開館時間の変更を検討した時にも出来なかったという現状がありました。そういった運用が柔軟にできるような形をもっととっていただくと、非常に効率良い運用ができるのではと思います。

参加者

非常に頑張っておられる指定管理者と、そうでない管理者が目立つ印象を受けます。例えば、青野ダム記念館ですが、2階に和室や会議室がありますが有料での貸館事業をしていません。部屋を市民に安く貸し出し、たくさんの人が集う場所を作る、そういう工夫をしているのでしょうか。施設の見直しの場合、金銭面だけでなく、市民の立場に立った運営ができていないかとも考えてほしいです。

市	<p>青野ダム記念館の貸館業務につきましては、広野市民センターができたときに、あまり利用がない状況が続き、当時、貸館業務としての30万円ほどの収入に対し、年間の維持管理に920万円の費用がかかっていたので、費用対効果の観点から、平成16年に貸館業務を停止しました。現在は、指定管理者の自主事業として無料で会議室を開放しています。</p>
参加者	<p>無料で借りられるということですが、無料だと逆に借りにくいんです。先に行って場所を取れば良いのか解らないのです。</p> <p>青野ダム記念館では、もっとたくさんの人に来てもらい、ここで活動する市民を増やすという視点が感じ取れませんでした。指定管理している以上、いかに市民を寄せつける魅力ある施設にしていくかが重要だと思います。貸館事業をやめられたと言いますが、どうしたら継続していけるのかを考えてほしいです。</p>
市	<p>貴重なご意見ありがとうございます。他の施設も含めて指定管理者と検討していきたいと思います。</p>
司会	<p>続きまして、この地域内での公共施設についてのご意見をいただいております。</p> <p>「フラワータウン駅前倉庫について、倉庫としての機能は現在も維持されているのか、代替機能は他の施設に移しているのでしょうか。跡地利用は、人と自然の博物館等の近隣施設との相乗効果を図れる施設を検討すべきだと思います。車社会の三田で、駅から歩いて行ける貴重な立地を活かしてほしいです。人口減少から外国人労働者受け入れの動きがあり、フラワー・ウッディのURや市営・県営住宅に外国人住民が増えるという未来も想定して有効な活用手法を検討してほしいです。」という内容です。</p> <p>それからもう一つのご提案と致しまして、「フラワータウン駅前倉庫について、災害避難施設に活用してはどうでしょうか。」というご意見を頂戴しています。</p> <p>まず、事務局から今の倉庫の使い方をご説明させていただきます。</p>
市	<p>フラワータウン駅前倉庫の現状についてご説明します。従来駐輪場として活用していましたが、駅前に無料駐輪場を作ったことで、平成25年にその用途・目的を廃止して、施設としての役目を終えました。その後、いったん防災倉庫ということで防災資機材をいれておりましたが、旧狭間が丘給食センターに、きちんと防災倉庫を設置し、現状はほぼ使っていないという状況です。</p>
参加者	<p>この駅前倉庫の活用というのは、ハコモノは触らずにそこで使えるものに限定されるのか、ワークショップである程度使い道を検討した中で増築や改修を考えることは可能なのでしょうか。</p>
市	<p>例えば、更地にして新たな活用をというのもあるでしょうし、今の建物を利用していく形もあると思います。ワークショップの中で様々なご意見をいただきたいと思います。</p>
司会	<p>ほかにフラワータウン駅前倉庫について何かご意見ございますか。</p>
参加者	<p>駅前倉庫について、防災倉庫として必要ないとのことですが、フラワータウンの人口、災害備蓄倉庫の数、防災備品の中身・数量、また、防災食備蓄倉庫の数、その中にある食糧と水の備蓄数、災害時の避難施設数、それを教えてください。</p>
市	<p>この場ではその正確な数字が解りませんので、後日ご返答させていただきます。避</p>

難所については、施設で収容人員は異なりますが、三田市で大規模災害が発生した時に、基本今の避難所でまかなえるというような想定はしています。

参加者

大きな災害が起こった時に、生活基盤の破綻が非常に怖いです。それに対しての備えが避難所や備蓄食糧等になりますが、様々なことを想定した備えが必要です。先ほどの質問は、地域の自主防災組織からのものです。

もう一つ、各自主防災組織での防災食や防災部品の購入に、補助金は出ないのかということもお聞きしたいです。

司会

本日のタウンミーティングは、公共施設のマネジメントが中心ですので、後で事務局からご連絡させていただきます。

参加者

今の駅前倉庫ですが、大災害が起きた時には災害倉庫として確保していただきたいという意見が地域の防災委員からありました。備品や防災食の置き場、あるいは避難者の施設として、活用していただきたいという願いです。市民の命を守るために倉庫だけは残していただきたい。

市

貴重なご意見ありがとうございます。ワークショップの中でのいろいろな意見等も含めまして、どのような活用が良いのか検討したいと思います。

参加者

これはフラワータウン自治会の代表会で必要な情報ですから、連合自治会へ伝えてください。

市

連合自治会に情報提供をさせていただきます。

司会

次に、この地域外の公共施設についてご意見を頂戴していますので、そちらについて紹介させていただきます。ふれあいプールと図書館について頂戴しています。

ふれあいプールについては、「今後、別の子育て支援策に切り替えるとのことですが、子どもの体力向上につながる施策となるのでしょうか。プールという施設がないため、存続させないと決める際には子育ての中の体力向上に焦点を当てていただきたいです。」

それから図書館についてですが、「指定管理者に変わって効果(コスト、コスト以外の両面)はあったのでしょうか。」というご意見をいただいています。

市

図書館については、5年前に指定管理を始めまして、一番大きい効果が出ているのはやはり開館時間が伸びたことです。休日を減らし、開館時間を夜8時まで伸ばしました。また指定管理者の自主事業として、調べる学習コンクールや電子図書館などの事業を展開しており、非常に効果があったと考えております。

市

ふれあいプールにつきましては、プールの本体・プール槽に大規模な修繕が生じた段階で廃止をしていくという方針を今の方針案に記載しています。先ほどありました通り、確かに子育てにとって貴重な施設ですので、今後の活用については、ご意見を踏まえながら検討を進めたいと思います。

司会

他に、ふれあいプールや図書館についてのご意見やアイデアはございますか。

参加者

図書館の指定管理料が高値にあたるということで、見直しを予定しているのでしょうか。自主事業での、様々な講座や三田の歴史についての教室開催は、非常に良いと考えていましたが、見直しとなれば、そういったものの切り捨てもやむを得ないと思われるので、こういった形で指定管理の見直しをされるのか、教えてください。

市	<p>具体的なところとしては、近隣の図書館の状況と比較して、運営人員や図書購入費用の見直しを検討しています。自主事業についても、本来必要なことを除いて、もう一度ゼロから見直したいと考えております。</p>
参加者	<p>今の段階では指定管理は続けるという認識でよろしいのでしょうか。</p>
市	<p>引き続き指定管理を考えております。</p>
司会	<p>それでは続きまして、ご意見を頂戴しております。</p> <p>「陶芸館や淡路風車の丘などは、新たな道の駅構想を入れて三田の目玉にしてはどうでしょうか。三田に道の駅がないので。」その趣旨ですが、「財政のことばかり目立つが、本当にどれほど検討しているのでしょうか。高齢者の居場所づくり、子どもたちの施設はどんどん発展的にしていけないと思います。いろいろ問題を含んでいますが、三田が人口減少でなく人口増につながる発想が重要ではないでしょうか。」ということですが、他にご意見あるいはアイデアがございましたらお願いします。</p>
参加者	<p>三田市内には道の駅が一つもありません。道の駅はただ単に商売ではなくて、地域の活性化を担っています。ですから淡路風車の丘にしても、淡路風車の丘を中心とした地域の発展にもう一回化粧直しをし、作り替えたらいかがかと思えます。やめるのではなく、どうしたらそれを使ってまちづくりができるのかを考えてほしいと思えます。</p>
司会	<p>ありがとうございます。他にご意見ございますか。</p>
参加者	<p>母子へ行くのに交通機関の不自由さを強く実感しています。母子までの中間に道の駅を作り、そこに医療施設やショッピングセンターなどの複合的な施設を作れば、そこに人が集まり、バスの便も増えます。もっと活気を生むためにも、私は賛成です。</p>
司会	<p>ありがとうございます。他にご意見はございますか。</p>
参加者	<p>フラワータウン駅前倉庫などについて、統合や廃止による将来の利用方法などの施策を、市は具体的に考えているのでしょうか。例えば、市民活動での利用やふれあいプールが廃止になった場合の代替的な施策案は、何か考えておられますか。</p>
市	<p>フラワータウン駅前倉庫については、地域の方と意見交換をして、アイデアをいただきながら、本当に必要な施設はどういったものなのか考えていきたいと思っています。</p> <p>ふれあいプールにつきましては、今のところプール本体に致命的なダメージが出るまでは使っていきたいと考えております。</p>
参加者	<p>人口を増やす取り組み、また財政難の中で財源につながる方向の事業転換をやるというような考え方、施策の取り入れはなされてないのでしょうか。</p>
市長	<p>今ある公共施設をどういう形にしていくかと共に、先ほども賑わいの話がありましたが、やはり産業というものをどういうふうにしていくかがあると思います。</p> <p>三田や新三田の駅前をどうするのか。それと今回カルチャータウンでは、市から県に強く要望して、「まほろば」というかなりの集客を期待している施設があります。また、農村地域については、三田の歴史を見ると、丹波に近いところがありました。こういう農村地域について、今後どのような形にしていくのかということなのです。</p>

もう1つは交通体系です。今、地域戦略室で交通体系をどのようにしていくか、まちづくりという視点で検討しています。人口の増加は、日本全体でほとんどなく、今後取り合いの状態ですので、三田としてもコンパクトな街になっていきます。けれども、外からの人が訪ねて面白い街にするということは、産業政策も含めて検討させているので、必ずしも減少のもとに街が小さくなっていくことだけではなく、賑わいという面も十分に配慮した形で検討させています。またいろんな案が出た段階で紹介させていただけたらと思っています。

司会

あともう少しで時間ですので、あと1つか2つにさせて頂きたいと思います。

参加者

地域イニシアチブの在り方について線引きをしていますけれども、私は線引きする必要はないと思います。

司会

ご意見ありがとうございます。

参加者

地域イニシアチブのことについてですけれども、これは地域団体などが公共施設を使わせてもらって、例えば地域の課題解決をするということですからけれども、そこに対して市からの補助というのは考えているのでしょうか。

市

この公共施設での地域イニシアチブといいますのが、公共施設でなくなった部分について、いろんな活動したいという団体にお貸ししますよ、ということで、その活動そのものに補助をするのかは今回の議論とはまた別です。その活動の内容で、例えば市としてはいろんな提案事業というのを募集していますので、それに該当すれば補助もあるということです。

参加者

地域イニシアチブをやっていくというのであれば、例えば何か地域課題を解決した時の成果に対する報酬というのを考えてみても面白いかなと思いました。

司会

ありがとうございます。最後にまとめといたしまして、市長からお願いします。

市長

本日は、限られた時間の中でいろいろなご意見ありがとうございました。今回いただいたご意見については、きちっと整理をさせていただいて、他の地域のご意見も伺ったうえで、最終的にまとめさせていただきたいと思っています。できる限り多くの方がいろんな意見を言えるように、工夫をさせていただきたいと思っています。

我々としても今日いただいたご意見につきましては、また庁内でしっかりと議論をさせていただきたいと思っています。

公共施設のマネジメントは非常に難しい問題ですけれども、是非色々な形で市民の方々と一緒にやっていきたいと思っています。

本当に今日はありがとうございました。